

東北地方 1 か月予報

(4 月 2 4 日から 5 月 2 3 日までの天候見通し)

平成 1 6 年 4 月 2 3 日
仙台管区气象台発表

< 特に注意を要する事項 >

これまで気温の高い状態が続いていましたが、予報期間前半は気温の低い日が多い見込みです。おそ霜のおりる恐れがありますので注意してください。

< 予想される向こう 1 か月の天候 >

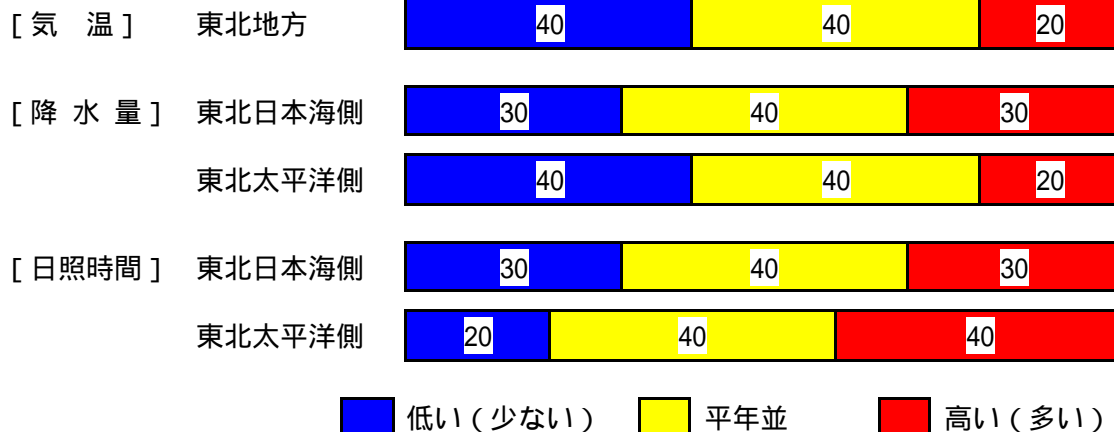
向こう 1 か月の実現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変化しますが、前半は気温の低い日が多い見込みで、おそ霜のおりる恐れがあります。

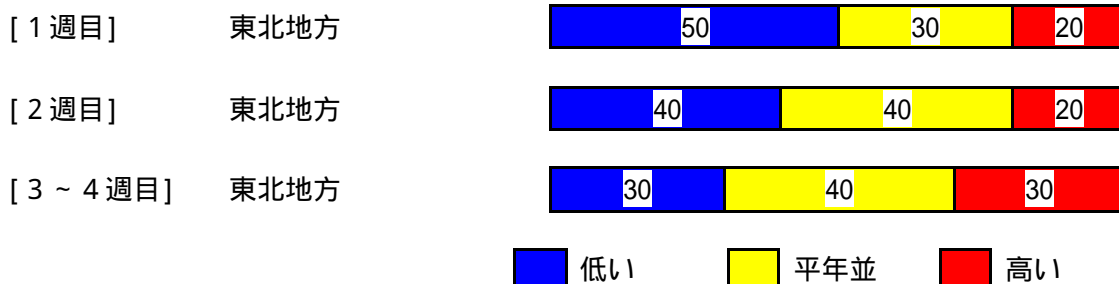
向こう 1 か月の平均気温は平年並か低い、降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で平年並か少ない、日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で平年並か多いでしょう。

週別の気温は、1 週目は低い、2 週目は平年並か低い、3 ~ 4 週目は平年並でしょう。

< 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >



< 気温経過の各階級の確率 (%) >



< 予報の対象期間 >

1 か月 : 4 月 2 4 日 (土) ~ 5 月 2 3 日 (日)
1 週目 : 4 月 2 4 日 (土) ~ 4 月 3 0 日 (金)
2 週目 : 5 月 1 日 (土) ~ 5 月 7 日 (金)
3 ~ 4 週目 : 5 月 8 日 (土) ~ 5 月 2 1 日 (金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 4 月 3 0 日
3 か月予報 : 5 月 2 5 日 (火) 1 4 時 0 0 分

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温()		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
大船渡	12.7	153.3	186.6	11.1	12.0	13.5
新庄	13.0	108.1	170.1	11.1	12.2	14.0
若松	14.3	77.6	188.7	12.6	13.7	15.3
深浦	11.9	106.5	184.0	10.3	11.3	12.8
青森	12.0	76.6	199.6	10.2	11.3	13.0
むつ	11.1	93.4	199.0	9.3	10.4	12.0
八戸	12.1	82.7	200.0	10.4	11.5	13.0
秋田	13.1	125.8	178.6	11.4	12.4	14.0
盛岡	12.7	105.5	187.2	10.8	11.9	13.7
宮古	12.2	102.9	186.4	10.7	11.6	13.0
酒田	13.7	119.8	186.5	12.0	13.1	14.7
山形	14.3	82.0	192.3	12.5	13.6	15.3
仙台	13.9	112.3	191.1	12.3	13.3	14.7
石巻	13.0	103.3	196.7	11.3	12.3	13.8
福島	15.5	88.7	190.0	13.8	14.9	16.4
白河	13.8	117.1	182.2	12.2	13.3	14.6
小名浜	14.3	150.1	191.4	13.0	13.8	15.0

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4～+0.5	82～ 115	97～ 105
東北日本海側	-0.5～+0.6	84～ 117	96～ 105
東北太平洋側	-0.4～+0.5	75～ 116	97～ 105

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.7～+0.8	-0.6～+0.9	-0.3～+0.6
東北日本海側	-0.7～+0.8	-0.7～+0.9	-0.4～+0.6
東北太平洋側	-0.6～+0.7	-0.6～+0.8	-0.3～+0.6

< 参考資料（利用上の注意） >

（１）気温・降水量等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間ににおける各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）確率は、それぞれの階級が実際に起こると予想される割合を表しています。信頼性の大きい予測資料が得られた場合には気候的出現率（階級の定義から各階級とも同じで 33％）から大きく隔たった確率（10％や 60％、70％など）を付けられますが、信頼性が小さい場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 16 年 4 月 23 日 仙台管区气象台

1. 実現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月(4 月 24 日～5 月 23 日) :

天気は数日の周期で変化しますが、前半は気温の低い日が多い見込みで、おそ霜のおりる恐れがあります。

平均気温は平年並か低いでしょう。

1 週目(4 月 24 日～4 月 30 日) :

明日(24 日)から明後日(25 日)と期間の中頃は、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の所が多い見込みです。その後は、高気圧に覆われて晴れる日が多いでしょう。

平均気温は低いでしょう。

2 週目(5 月 1 日～5 月 7 日) :

天気は数日の周期で変化するでしょう。寒気の影響で気温の低い日があり、おそ霜のおりる恐れがあります。

平均気温は平年並か低いでしょう。

3～4 週目(5 月 8 日～5 月 21 日) :

天気は数日の周期で変化するでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

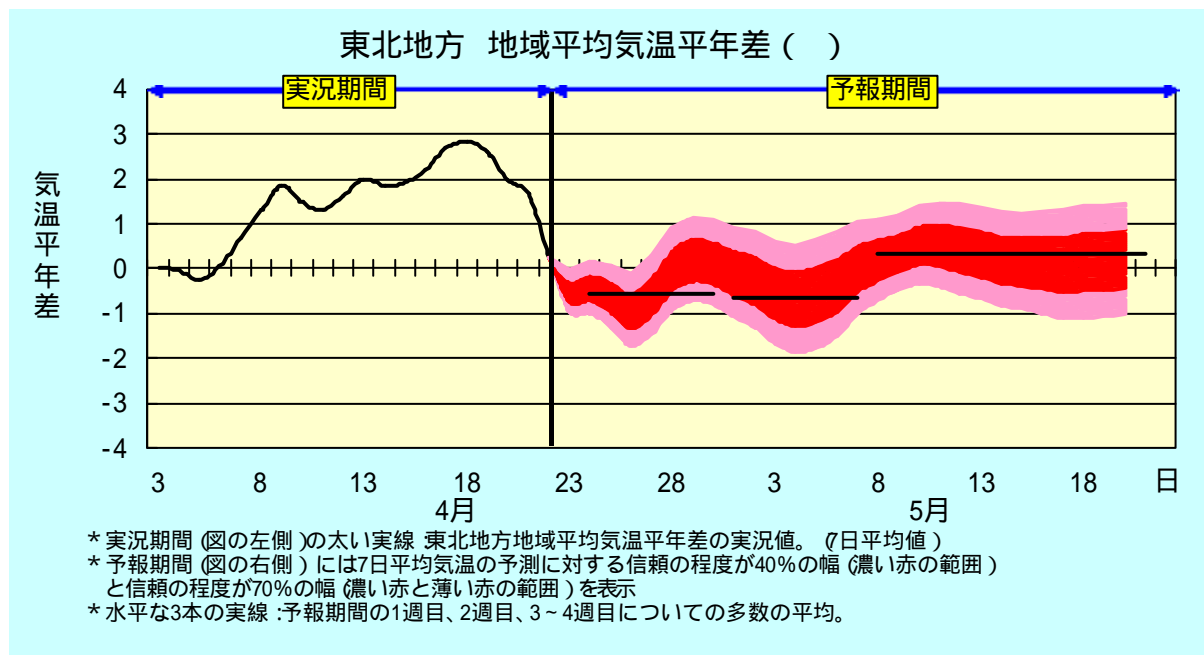
平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	15.6 日	4.1 日	3.7 日	7.8 日
東北太平洋側	16.0 日	4.3 日	3.8 日	7.9 日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目は「平年並」、2 週目は「低い」、3～4 週目は「平年並」と予測している。予報は、その他の資料から 1 週目を「低い」、2 週目を「平年並か低い」と変更する。

なお、数値予報の信頼度は小さい。



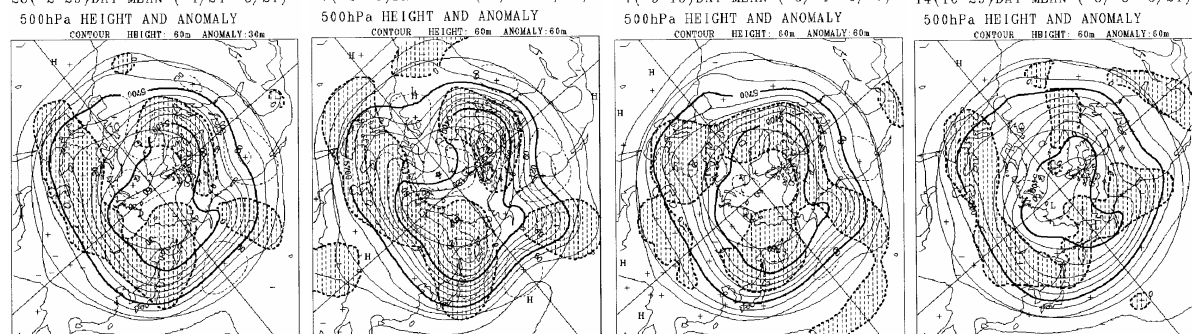
3．数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、極域は正偏差。極東域は 50～60° 帯で負偏差、日本付近はカムチャツカ半島付近から延びる谷場で東日本以北は負偏差。

週別に見ると、1 週目は、極東域ではカムチャツカ半島付近から日本の南まで負偏差が広がり、一時寒気の影響を受ける見込み。2 週目は、日本付近はオホーツク海付近から延びる谷場。北日本で負偏差。3～4 週目は 50° 帯が負偏差で 40° 以南は弱い正偏差。

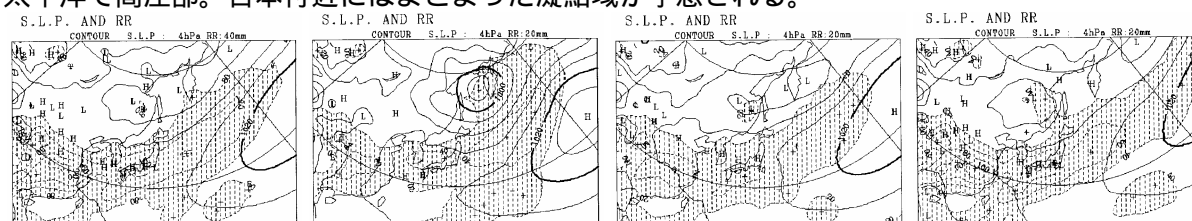
28(2-29)DAY MEAN (4/24- 5/21) 7(2- 8)DAY MEAN (4/24- 4/30) 7(9-15)DAY MEAN (5/ 1- 5/ 7) 14(16-29)DAY MEAN (5/ 8- 5/21)



地上気圧と降水量：

月平均では、オホーツク海付近に低圧部があり、日本付近は高圧部。東・西日本は低気圧の影響が予想され、広く凝結域に覆われる。

週別に見ると、1 週目は、オホーツク海に低圧部があり、太平洋の高気圧が日本の南東海上に張り出す。日本付近は凝結域に覆われる。2 週目は、月平均と同様。オホーツク海付近に低圧部があり、日本付近は高圧部と予想されるが弱い凝結域がかかる。3～4 週目は、沿海州が低圧部で太平洋で高圧部。日本付近にはまとまった凝結域が予想される。

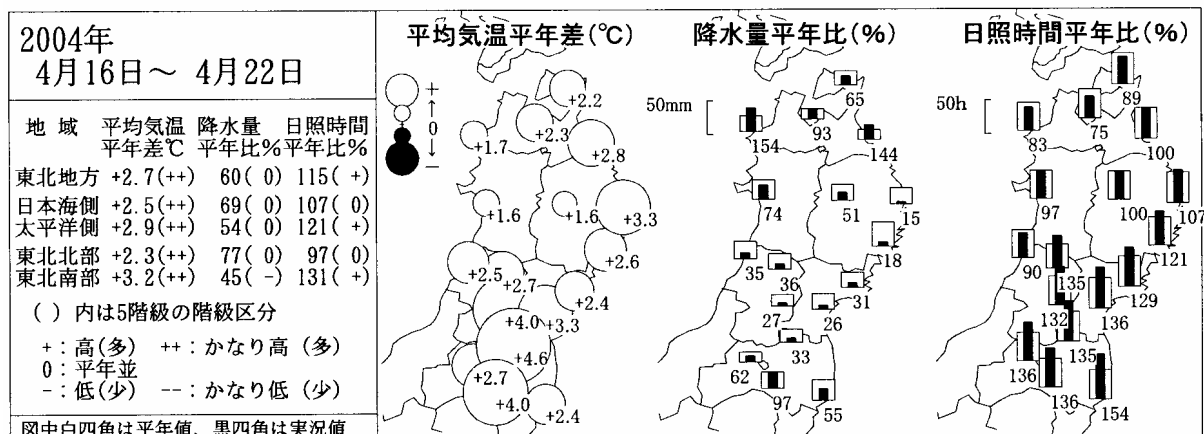


4．最近 1 週間（4 月 16 日～4 月 22 日）の天候の経過

この期間の天気は周期的に変わった。20～21日は低気圧が発達しながら北海道を通過したため風が強まり、岩手県と宮城県で被害が発生した。また北海道付近を通る低気圧に向かって暖かい南風が吹き込こんだため、気温の高い日が多かった。

なお、16日に八戸、18日に青森で桜が開花した。

平均気温はかなり高い。降水量は東北北部で平年並、東北南部で少ない。日照時間は東北北部で平年並、東北南部で多い。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）